

御 ONJUKU 宿

新春のお慶びを申し上げますとともに
町民の皆様が健やかで楽しく幸せな一年と
なりますようお祈り申し上げます

ドンドリゴ上陸地

慶長十四年(一六〇九)九月三十日
前フイリビン諸島長官ドン
ドリゴが任期満ちイメキシコ
に帰ろうとルソンのマニラ港から
スペイン帆船サンフランシスコ号
イメキシコのノビスパンのアカブルコ港
に向う途中暴風雨にあいこの海岸に
座礁した夜半三二七名の乗組員が上陸し
たが岩和田村の人々はこれを遠く迎え
手厚く保護し幕府の指示が
下りまでの三七日間当地の火宮寺
に滞在させた

昭和五十六年三月三十一日

真鍋郡教育委員会
御宿町

座礁したサン・フランシスコ号の乗組員317名の救出から
400年を迎える田尻海岸から望む日の出

—新年挨拶—

町民の皆さまが主役のまちづくり

より豊かで躍動するまちに



明けましておめでとう、ございます。

町民の皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年12月に行われました町長選挙におきまして、皆様的心温まるご支援をいただき、当選の榮に浴し、町政を担うことになりました。誠に身に余る光榮であります。

本年は、国の内外を問わず厳しい経済社会情勢の中での行財政運営となりますが、町民の皆様のご意思を反映した町

政、町民の皆様お一人お一人を大切に、

廣心のかようまちづくり

りを実践していきま

す。公約としました

多くの政策を実現す

るため、議会並びに

町民の皆様のご理解

とご協力をお願いい

たします。

皆様と共により豊かで躍動

するまちに、その第一歩を踏

み出していききたいと考えます。

町民にやさしい役場づくり

まず、第一に行財政改革の

徹底ですが、町長専用車を廃

止し、町長報酬を50%カット

し、報酬カット分を子育て支

援にあてます。サンデーオー

ブン（日曜日事務受付OK）、

フレックスタイムの導入（早

出、遅番により事務受付時間

拡大）、出張役場制度（職員

の自宅で書類申請OK）につ

いては、できるだけすみやか

に体制を整えていきます。ま

た、町民懇談会や町長室解放

日を設け、町民の皆様の要望

や悩みをしっかりと受け止め

ていきます。

職員の意識改革を行うとと

もに、町民にやさしい役場づ

くり、町民の皆様が利用しや

すい役場づくりにつとめてい

きます。また財源確保対策と

して、役場内に定住化促進チ

ームを設置し、定住化をすす

め、税源の拡大につとめます。

サン・フランシスコ号

漂着400周年記念事業

平成19年から3年間にわた

り実施している『サン・フラ

ンシスコ号漂着400周年記

念事業』ですが、本年は漂着

してから400周年という節

目を迎え、この偉業を世界に

発信し、9月頃予定する記念

式典にメキシコ大統領の来町

を要請するとともに、人間愛

や国際友好親善をテーマにし

た絵画作品の公募など昨年に引き続きさまざまな事業を行っていきます。

福祉のまちづくり

子育て支援の充実に向け、

妊婦一般健康診査について、

5回分の費用負担に加え、町

独自に、最大9回まで助成を

行うことや、小学生の入院に

係る医療費の助成を引き続き

実施いたします。このほか、

特定健診や各種がん検診、予

防事業などに積極的に取り組

み、子育てサロンの開設など、

町民の皆様の健康維持やサポ

ートを行っていきます。

自然環境の保持

観光、漁業、農業など産業

の基盤となる優れた自然環境

を維持し、生活排水対策、河

川浄化、海浜美化に積極的に

取り組んでまいります。具体

的には、役場内に環境浄化チ

ームを設置し、美しい自然環

境を生かしたまちづくりを進

めます。

また、寄附を通して新しい

協働のまちづくりの手法とし

て導入した「活力あるふるさ

とづくり基金条例」を活用し、

月の沙漠公園などの環境を維持、保全してまいります。

産業振興

農林業の振興として、農業

経営基盤の整備推進するため、

中山間地域総合整備事業を立

ち上げ、計画を策定してまい

りましたが、21年度から事業

実施することとなります。

観光においては、観光施設

を整備し、人情味あふれる町

の風土や、優れた環境を広く

アピールし、イベントやキャ

ンペーンの宣伝の強化を行い、

積極的に観光客を誘致します。

町民の皆様との協働による地

域の活性化を図っていきます。

活性化対策

町内の各団体との連携を密

にし、活性化プロジェクトを

推進していくとともに、御宿

高校跡地や、旧岩和田小学校

を町民のために、どのように

活用していくか検討してまい

ります。そして、貸し農園な

どで遊休農地、遊休施設の活

用拡大を図ります。

人づくり・教育文化の振興

御宿中学校改築につづき、

新たな一歩 400年の時を超えて



御宿町議会議長
新井 明

新年あけましておめでとう
ございます。

輝かしい新春を町民の皆様
とともに迎えられましたこと
を、御宿町議会を代表して心
よりお慶びを申し上げます。

歳月を重ねることは早いも
ので、伝統ある御宿町議会の
議長としての大役を仰せつか
ってから1年が経過したわけ
でございます。平素から、町
民の皆様方には、町政運営並
びに議会運営に対する温かい
ご理解と絶大なるご協力を賜
り、深く感謝とお礼を申し上
げます。まだまだ至らないと
ころが多々ございますが、本

年も決意を新たに、
御宿町の振興と発
展に向け、さらに
精進して参りたい
と存じます。

さて、昨年の暮
れに行われました
町長選挙におきま
しては、輝かしい

足跡を残されました井上町政
の後を受けまして、団塊の世
代から新たな旗手として石田
町長が就任されました。国政
においては、福田内閣の総辞
職により麻生内閣が誕生しま
したが、米国発の金融問題が
収束の兆しが見えないまま、
未曾有の世界的な金融危機に
見舞われ、麻生新政府は基本
方針に景気対策と財政再建の
両立を目指す考えを示してお
りましたが、景気悪化を背景
とした企業業績の低迷により、
財政赤字の拡大に歯止めがか
からない状況に陥っています。

平成20年度の地方財政は、

地方税や交付税の原資となる
国税収入の伸びが鈍化するな
か、地方税収支においても国
以上に下降に推移している状
況にあつて、社会保障関係経
費の自然増や公債費が高い水
準で推移する事により、財源
不足が生じております。地方

自治を取り巻く環境は厳しく、
少子高齢化の社会現象にあつ
て、限られた予算をいかに効
率的に有効に効果のある事業
として推進し、住民サービス
の向上を図れるか、新町長の
真価と行政の本質とが問われ
るところでございます。

地方自治体の経営をめぐる
情勢は非常に難しいところで
ございますが、当御宿町にと
つては、日本の歴史や人類の
歴史に残る「人と愛の物語」
が語り継がれてから400年
という節目を迎える年でもご
ざいます。町では、数年前か
ら委員会を立ち上げ、事業を
展開してきましたが、特に本

年はメキシコをはじめ、各国
の関係者や多くの方々から御
宿町がさらに注目を集めると
ころでございます。先人の豊
かな心を世界中の人たちに伝
えていくだけでなく、御宿の
子どもたちには、新たなメッ
セージとして継承してもらい
たいと切に願うところです。

町議会におきましては、町
長選挙と同時に開催されまし
た町議会議員補欠選挙により、
新たに議員が就任され、定数
通りの議会運営が可能になり
ました。今後も大地にしっかりと
根をはって将来を見据え
た議会活動に邁進するととも
に、町民の皆様が理解しやす
い議会制度の見直しについ
ても幅広く研鑽し、町の活性
化においても、住民主体の町
づくりに向け、皆様の意見を
携えて、町民と行政と議会が
一体となつて協働していける
ように日々活動して参ります。
どうか皆様方の温かいご支
援、ご鞭撻を心からお願ひ申
し上げ、併せて皆様方のご家
族のご健勝、ご多幸をお祈り
いたします。新春のごあい
さつとさせていただきます。

御宿小学校校舎及び屋内運動
場の耐震補強・大規模改修事
業が完了しましたが、引き続
き御宿中学校屋内運動場建設
に向けて、推進してまいりま
す。そして、町民の誇りであ
るサン・フランシスコ号救出
の史実を踏まえ、公民館の教
室事業や学校給食など子ども
からお年寄りまで協働施策で、
スペイン・メキシコ文化の交
流に取り組みます。

町活性化元年

サン・フランシスコ号救出
400周年に当たるこの年を
「町活性化元年」としてとら
え、まちづくりのテーマを
「人」として、町民の皆様が主
役のまち、お一人お一人が輝
くまちづくりに、全力を傾注
していきたいと思ひます。
町民の皆様方におかれまし
ては、町政へのより一層のご
支援と、ご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。とも
に、この1年が皆様方にとり
まして、希望に満ちた幸多き
年となりますようご祈念申し
上げまして、年頭のあいさつ
といたします。

サン・フランシスコ号が岩和田の沖で座礁し
私達の祖先が献身的な救助活動を行い
乗組員317名を救出してから400年

今年、は節目の年です



今年、は、スペイン領フィリピン総督ドン・ロドリゴ一行の乗るサン・フランシスコ号が、メキシコへの帰港中に岩和田の田尻沖で座礁し、当時の岩和田村民による献身的な救助により、一行317名が救出された歴史的事実から400年を迎えます。

この誇りある歴史の節目を迎えるにあたり、平成19年6月には、公募による住民等で組織する企画実行委員会が立ち上がり、私達祖先の偉業を広く後世に伝えるため、3カ年にわたり記念事業を展開しています。

昨年、は、スペイン大使館との共催により、スペインと日本に拠点を置き、国際的に活躍されているピアニストで作曲家の川上ミネさんを迎えてのピアノコンサートや県の「ふるさと満喫フェア」国際交流編が、伊勢えび祭りのイベントとタイアップして開催されるなど、両国との文化交流を実施したほか、小中学校における各種史実伝承事業やメキシコ記念公園の整備など、皆さんからの協力やご支援をいただきながら取り組んできました。

今年、は、本記念事業の集大成として、記念式典の挙行や現在作品募集中の記念公募展のほか、昨年実施し好評いただいたピアノコンサートの開催やメキシコ合衆国大統領の招へい、メキシコの海軍船クアウテモク号の来航に向け調整しているところです。地域ぐるみで創りあげる記念事業とするためにも、皆さんの更なる積極的な参加や協力をお願いします。

400周年記念式典

400年前に遭難救助したと伝わる9月にあわせて、9月26日に記念式典を予定しています。

昨年のイベントの際にもご協力いただいたスペイン大使館、メキシコ大使館のほか、姉妹都市のアカブルコ市長、さらにはメキシコ合衆国大統領の招へいを進めています。

また、メキシコ大使館主催の民族舞踊やメキシコ料理を楽しめるペラーノ・デ・メヒコ（メキシコの夏）の誘致やスペイン大使館との共催によるピアノコンサートの開催について調整しています。

メキシコ記念公園整備



スペイン・メキシコとの国交、親睦のシンボルとして1928年に建立された日西墨三国交通発祥記念之碑（メキシコ記念塔）が建つメキシコ記念公園の整備として、国旗掲揚ポールの増設や侵入路となる町道1089号線の舗装補修工事、周辺の枝の剪定による景観整備を行ってきました。

今年、は、記念塔の大理石の張替えやバリアフリー化を進め、9月の記念式典にあわせて除幕式を行います。この記念塔が、将来にわたり多くの人々に末永く愛されるよう整備・保全に取り組みます。

400周年記念公募展

史実にちなみ、人類愛や国際友好親善をテーマに、絵画・写真・版画などの平面作品を公募し、広く関心を集め、全国に向けて史実のすばらしさや人類愛のメッセージを発信するものです。

現在、7月10日までの期間で作品を募集中で、9月の記念式典にあわせて、入賞作品の決定・表彰を行います。なお、入賞作品等については、月の沙漠記念館の企画展として展示を行い、御宿の地で起こった史実のすばらしさを広く周知することにより、地域の活性を創出していきます。



発行：御宿町 発行責任者：石田義廣 編集：企画財政課 電話：0470-68-2511（代）
住所：〒299-5192 千葉県夷隅郡御宿町須賀 1522 ホームページ：<http://www.town.onjuku.chiba.jp/>